

**首都高速道路株式会社
第9期（平成26年3月期）
決算説明会**

平成26年6月10日

平成25年度の事業概況

➤ 道路の適切な維持管理と大規模更新への取組み

- ・ 走行環境の改善、道路施設の安全性を確保するため、点検の強化による損傷の早期発見、発見した損傷の補修強化、自然災害に対する管理体制の強化等を実施
- ・ 「首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する調査研究委員会」からの提言を受けて検討した更新計画（概略）を、平成25年12月25日に公表

➤ 首都高速道路のネットワーク整備の推進

- ・ 中央環状品川線…平成26年度開通に向けて、大橋連結路の本線接続工、五反田出入口の躯体構築工、本線シールドの内装工・施設工等、大井JCTの橋面工を実施中
- ・ 晴海線…基礎工を実施中
- ・ 横浜環状北線…シールドトンネル（延長約5.5km）掘進完了、高架区間は橋梁架設工等を実施中
- ・ 横浜環状北西線…用地測量、構造設計等を実施中

【参考】首都高速道路における更新計画（概略） 平成25年12月25日公表

平成25年1月15日の「首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する調査研究委員会」より提言を受け、首都高速道路における更新計画（大規模更新、大規模修繕）について検討に着手

全線の構造上、維持管理上の問題や損傷状況等を改めて精査し、特に重大な損傷が発見されており、大規模更新もしくは大規模修繕を実施しなければ通行止めなどの可能性が高い箇所を、更新計画（概略）として検討

○首都高速道路の更新計画（概略）

区分	路線名	区間	延長	概算事業費
大規模更新※1	1号羽田線	東品川棧橋・鮫洲埋立部 高速大師橋	約 8km	約 3,800 億円
	3号渋谷線	池尻～三軒茶屋		
	都心環状線	竹橋～江戸橋 銀座～新富町		
大規模修繕※2	3号渋谷線（南青山付近）、4号新宿線（幡ヶ谷付近）等		約 55km	約 2,500 億円
計				約 6,300 億円

※1 橋梁の架け替え、床版の取替え等

※2 構造物全体の大規模な補修

東品川棧橋・鮫洲埋立部の損傷等の状況



激しい腐食環境により損傷した構造



路面の陥没

大規模更新・大規模修繕の実施箇所



【参考】建設事業の進捗状況：中央環状品川線



写真① 大橋連結路（接続工）



写真② 五反田入口（躯体工）



写真③ 本線シールド内(施設工)



写真④ 大井北換気所(施設工)

連結經營成績

(單位：億円)

	H26/3期	H25/3期	増減
營業收益	3,162	4,336	△ 1,174
營業費用	3,156	4,271	△ 1,115
營業利益	5	64	△ 59
營業外收益	4	3	+ 0
營業外費用	1	2	△ 0
經常利益	8	65	△ 57
特別損失	3	1	+ 2
税引前利益	4	64	△ 59
法人税等	9	30	△ 20
当期純利益	△4	34	△ 39

高速道路事業の損益状況（連結）

（単位：億円）

	H26/3期	H25/3期	増減
営業収益	2,785	4,026	△ 1,240
料金収入	2,544	2,557	△ 12
道路資産完成高	240	1,467	△ 1,227
その他	1	1	△ 0
営業費用	2,793	3,968	△ 1,175
内：道路資産賃借料	1,936	1,919	+ 17
営業利益	△7	57	△ 65

- 料金収入は2,544億円（対前期比12億円の減収）
- 当期に完成した道路資産の機構への引渡し240億円
- 協定に基づく機構への賃借料1,936億円の確実な支払い

関連事業の損益状況（連結）

（単位：億円）

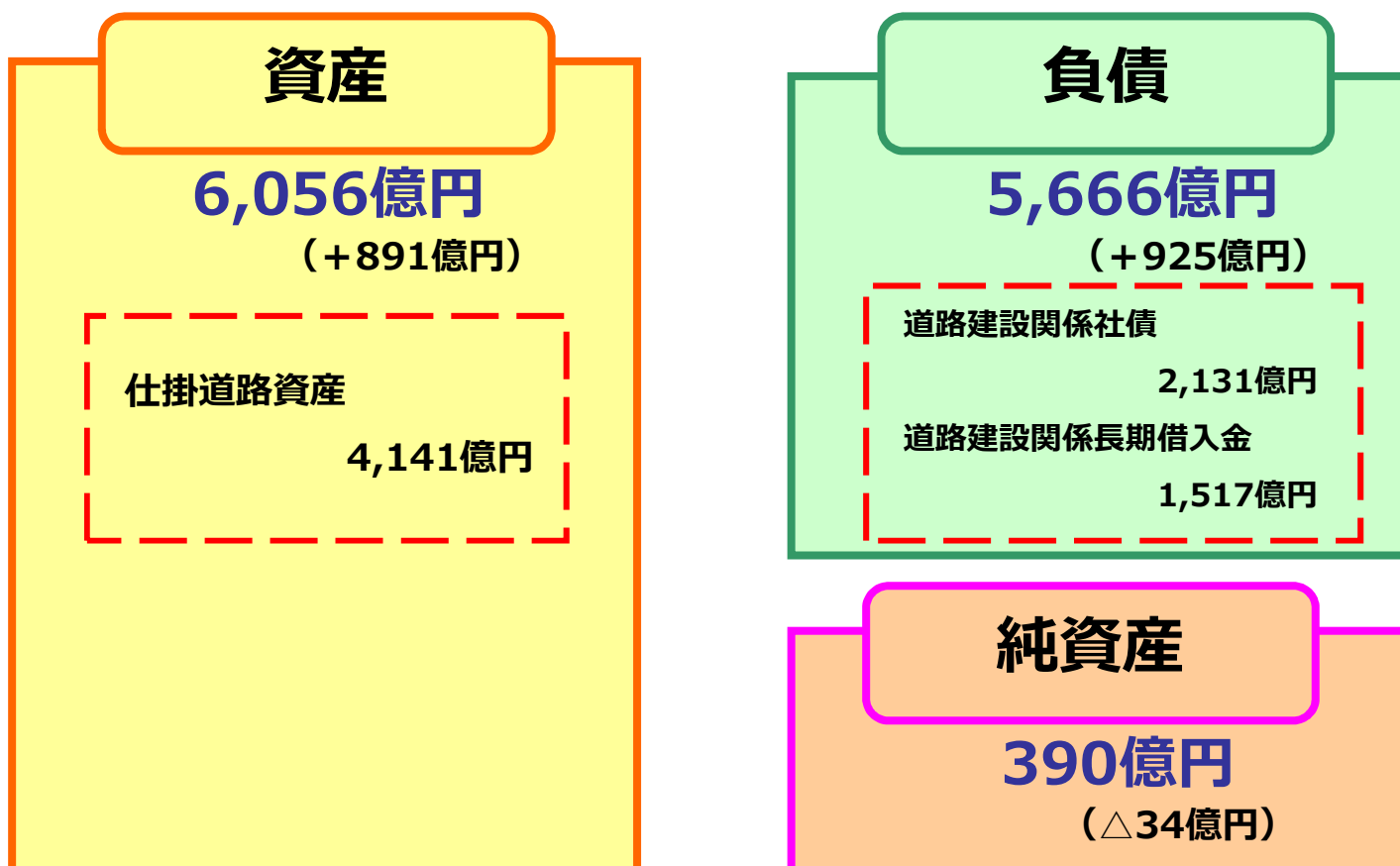
	H26/3期	H25/3期	増減
営業収益	381	314	+ 66
駐車場事業	28	27	+ 1
受託事業	331	268	+ 62
その他の事業	21	18	+ 2
営業利益	13	7	+ 6

▶ **受託事業** : 一般国道409号の整備事業の完成等

※その他の事業として、休憩施設、高架下賃貸施設及びトランクルーム、利便増進施設並びに不動産賃貸施設などの運営及び管理等を行っています。

連結財政状態

- 総資産残高は、前期末に比べて891億円増加し、6,056億円。
- 主な増減要因は、仕掛道路資産について、建設中路線の進捗等による増加1,125億円及び機構への引渡しによる減少240億円など。



単体決算の概要（1）

【高速道路事業】

（単位：億円）

	H26/3期	H25/3期	増減
営業収益	2,784	4,025	△ 1,240
内：料金収入	2,544	2,557	△ 12
営業費用	2,809	3,994	△ 1,184
内：道路資産賃借料	1,936	1,919	+ 17
営業利益	△ 24	31	△ 55

- ▶ 営業収益は、道路資産完成高の減等により、対前期比1,240億円の減
 内、料金収入は、割引の適用増や大雪の影響等により対前期比12億円の減
- ▶ 営業費用は、点検・補修の強化や大雪への対応等による増、道路資産賃借料の増、道路資産完成原価の減により対前期比1,184億円の減

単体決算の概要（2）

（単位：億円）

	H26/3期	H25/3期	増減
高速道路事業営業利益	△24	31	△ 55
関連事業営業利益	6	2	+ 4
全事業営業利益	△18	33	△ 51
経常利益	△13	34	△ 48
当期純利益	△16	16	△ 33

※ 平成26年3月末利益剰余金残高：61億円

首都高グループの概要

平成26年3月末時点 連結子会社15社



高速道路事業

～道路事業子会社～

【料金収受】3社

首都高トールサービス西東京(株)

首都高トールサービス東東京(株)

首都高トールサービス神奈川(株)

【交通管理】2社

首都高パトロール(株)、首都高カー・サポート(株) (首都高パトロール(株)の100%出資会社)

【維持修繕】7社

首都高技術(株)、首都高メンテナンス西東京(株)、

首都高メンテナンス東東京(株)、首都高メンテナンス神奈川(株)、

首都高電気メンテナンス(株)、首都高ETCメンテナンス(株)、

首都高機械メンテナンス(株)

～関連事業子会社～

【PA事業、駐車場事業等】1社

首都高速道路サービス(株)

【保険代理店事業等】1社

首都高保険サポート(株) (首都高速道路サービス(株)の100%出資会社)

【労働者派遣事業等】1社

首都高パートナーズ(株) (首都高速道路サービス(株)の100%出資会社)



駐車場事業



その他の事業

平成27年3月期の連結業績見通し

(単位：億円)

	H27/3期 見通し	H26/3期 実績	増減
営業収益	5,968	3,162	+ 2,805
料金収入	2,550	2,544	+ 5
道路資産完成高	3,088	240	+ 2,847
その他	0	1	△ 0
関連事業	329	381	△ 52
営業費用	5,957	3,156	+ 2,800
内：道路資産賃借料	1,919	1,936	△ 17
営業利益	11	5	+ 5
経常利益	9	8	+ 0
当期純利益	5	△ 4	+ 9

※見通しについては、様々な要因により変化するものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

お問い合わせ先

首都高速道路株式会社 財務部 決算課

TEL 03-3539-9540 (直通)

〈URL〉 <http://www.shutoko.co.jp/>